

## 四国支部

### 活動報告(1～3月)

#### 1. 高知地区安全衛生講習会

開催日時：平成30年1月12日(金) 13:00～

開催場所：四国運輸局 高知運輸支局 会議室

講演：「救命胴衣」について

講師：高階救命器具株式会社 営業部  
課長 井関 幸次

#### 2. 安全統括管理者・運航管理者研修会

開催日時：平成30年1月22日(月) 13:00～

開催場所：高松サンポート合同庁舎 会議室

内容：

「船舶における危機管理 ～津波・テロ対策等～」

講師：国土交通省海事局 安全政策課危機管理室  
専門官 大熊 明嗣

「主機関緊急起動と緊急離岸訓練のすすめ」

講師：一般社団法人船舶安全機構  
安全指導員 得能 英夫

WIB「船内向け自主改善活動」講習

講師：高崎経済大学 経済学部経営学科  
教授 久宗 周二

開催日時：平成30年1月23日(火) 13:00～

開催場所：松山観光港ターミナル 研修室

内容：

「船舶における危機管理 ～津波・テロ対策等～」

講師：国土交通省海事局 安全政策課危機管理室  
専門官 大熊 明嗣

「主機関緊急起動と緊急離岸訓練のすすめ」

講師：一般社団法人船舶安全機構  
安全指導員 得能 英夫

WIB「船内向け自主改善活動」講習

講師：高崎経済大学 経済学部経営学科  
教授 久宗 周二

#### 3. 平成29年度船員派遣事業に係る講習会

開催日時：平成30年2月19日(月) 13:30～

開催場所：高松サンポート合同庁舎 会議室

講演：船員災害防止について

講師：船員災害防止協会 専務理事 神田 一郎

## 活動予定(4～6月)

### [香川地区]

#### 1. 四国支部総代会

開催時期：6月

開催場所：高松市

#### 2. 香川地区支部総代会

開催時期：6月

開催場所：高松市

### [徳島地区]

#### 1. 徳島地区支部総代会・協議会

開催時期：6月

開催場所：徳島市

### [新居浜地区]

#### 1. 新居浜地区支部運営員会

開催時期：5月

開催場所：新居浜市

#### 2. 新居浜地区支部総代会

開催時期：6月

開催場所：新居浜市

## 高知地区支部で講習会開催



2017年は「大政奉還」から150年、2018年は「明治維新」から150年目に当たることから、高知県では昨年3月から2か年にわたり「志国高知幕末維新博 ～時代は土佐の山間より～」を開催中で、様々なイベント・企画展などが行われています。詳しいことは「幕末維新博」のホームページ(<https://bakumatsu-ishinhaku.com/>)で見ることができます。

さて、今般の講習は高知港湾合同庁舎会議室で「救命胴衣について」と題して、高階救命器具(株)の営業課長井関幸次(いせきこうじ)さんを講師に招いて行いました。



井上地区支部長(左)と藤戸支局長の挨拶



高階救命器具(株)井関課長

講習会の開会にあたり、高知地区支部井上地区支部長に続いて、高知運輸支局の藤戸支局長さんから「昭和43年度を初年度とする第1次船員災害防止基本計画以降着実に減少を続け、災害では約4分の1に減少してきたが、近年減少割合が鈍化傾向にある。本年2月から小型船からの海中転落を防止するため“救命胴衣”の着用が義務付けとなる。」ことなどを織り交ぜながら御挨拶を頂きました。

この後、プロジェクター、救命胴衣の実物を見ながらの講演に入りましたが、高階救命器具は高知県にも工場があるとのことで、参加した皆さんにも親近感が湧いたと思います。

冒頭、救命胴衣の歴史として、ノルウェーの漁師たちが木片やコルクを身に着けていたものに始まり、有名な“タイタニック号”に搭載されていた救命胴衣の写真と SOLAS 条約の発効、また、1935年に始まる高階救命器具(株)の起源にも触れられました。

救命胴衣をめぐる国内法体系、条約、それに基づく国内規格とその試験基準の説明があり、救命胴衣の信頼性・耐久性が向上しているとのことで、2013年10月からは小型船舶用・作業用救命衣も基準が改正されています。

救命胴衣国内規格		
救命胴衣	小室船相用救命胴衣 (浮力補助具)	作業用救命衣
総トン数20トン以上の船舶の救命設備としての搭載が義務付けられている	総トン数20トン未満の小室船の救命設備としての搭載が義務付けられている	総トン数20トン以上の船舶で舷外作業や船内作業の際に着用する救命衣
浮力規定(高浮力)	浮力規定(7.5kg/24時間)	
製品強度(3200N/30分)	製品強度(2000N/30分)	
飛込高さ(4.5m)	飛込高さ(1m)	飛込高さ(3m)
耐火性能	耐油性	
環境適応(温度環境下の評価)		
部材耐久性	部材耐久性(一部免除あり)	
部材性能評価	部材性能評価(一部免除あり)	
等、11項目の試験の合格が必要	等、10項目の試験の合格が必要	

	高層		フレッジャーボート	その他	老造船	修造船
	1人乗り	2人乗り以上				
船内や岸	船内に着用義務に			船外に着用義務に		
使用中	常に着用義務					
着脱と同様の着用義務が課せられている場合			強制着用*		船体修理の高層船に課せられる	乗止禁止法*
船内のおそれが少ない場合			乗船を禁止している場合、一定以上の高さの機がある場合等			
			船内側、修繕中、安全確保がとれている場合等			

\* 強制着用や乗止禁止の要請は、IPFのウェブサイトから検索も可能で取り扱う。  
\* 乗止禁止法は、高層船に課せられるライフジャケットの着用条件については、今回の救命設備の導入を踏まえて見直し予定。  
\* 12歳未満の子は着用が禁止されている。

講習資料から

膨張式救命衣は保守点検も重要で、ポンペの緩み、センサーの消費期限切れ、気室のピンホール(傷)がみられたそうです。



実物を手にとって

講習の後は後方に設けられた陳列台で、実際に作業用救命衣を手にとって熱心に説明をお聞きになっていました。

○参加者から寄せられた質問

Q)膨張式と固形式の浮力は同等と思ってよいか

A)作業用救命衣でいうと8kg と10kg 位で膨張式がおおいが微量に減る可能性があるのですが、高めになっている。

Q)強度はどうか

A)どちらも2000ニュートンの荷重をかけて試験しており、変わらない。水洗い等メンテナンス時は紫外線を避けて、陰干して欲しい。

Q)大型船の救命設備の救命衣も膨張式が多く見られるようになったが、固形式もあるか。

A)救命設備の固形式もあるが、あくまでも浮いているためのもので、作業には適さない。

最後になりましたが、今回の講習にあたり、多大な御協力を頂いた、高知運輸支局、高階救命器具(株)、高知地区支部の役員・指導員・会員の皆様に厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

四国支部 事務局 岡部年雄